



グローバル・フォーラム会報

THE GLOBAL FORUM OF JAPAN BULLETIN, Fall 2003 (Vol.4, No.4)

グローバル・フォーラムに期待する 経済人世話人・メンバーから一言

経済人世話人 豊田 章一郎
(トヨタ自動車取締役名誉会長)

WTOの新ラウンドへの取り組み等が進む一方で、市場経済化に取り残される途上国の貧困問題といった、グローバル化の「負」の影も大きくなっています。こうした問題を解決し、世界全体としてグローバル化のメリットを享受するためには、各国、各界のリーダーが対話し、知恵を出し合うことが重要であります。当フォーラムの活動が、そうした対話を促進する役割を一層果たすことを期待しています。



経済人世話人 茂木 友三郎
(キッコーマン代表取締役社長)

グローバル化の進展と同時に、リージョナリズムの台頭が進む中、新たな国際秩序の枠組み形成が求められている。21世紀が抱える課題解決に向け、グローバルなネットワークの拡充と、産官学のリーダーによる国際的な対話や知的交流の促進は益々重要である。その意味からも、グローバル・フォーラムに対する期待は大きく、その果たす役割は大きいと思われる。



経済人メンバー 石川 六郎
(鹿島建設代表取締役名誉会長)

科学技術の目覚ましい進歩のおかげで人類の未来は明るい。反面、経済や社会には混乱も多く、文化や宗教の対立も注目されている。知的対話を進めるグローバル・フォーラムの役割は重要である。



経済人メンバー 神谷 健一
(三井住友銀行名誉顧問)

グローバル・フォーラム設立から21年、唯一の超大国・米国の突出、EU誕生、世界の工場・中国の台頭等世界情勢は変貌したが、知的対話の重要性は揺るぎない。益々の発展を期待する。



経済人メンバー 高垣 佑
(東京三菱銀行相談役)

国際情勢が目覚しく変動し、新しい世界秩序が求められている今日において、国際知的対話を通して、グローバル・フォーラムが、経済界と政界官界学界とを結ぶ、開かれた意見形成の場となることを期待します。



経済人メンバー 平岩 外四
(東京電力顧問)

国際的な相互理解と協力が改めて重要になっている今日、日本は積極的な対話を通じ、世界との意思疎通を深めていく必要がある。グローバル・フォーラムのさらなる貢献・発展に期待する。



経済人メンバー 矢口 敏和
(ビル代行代表取締役社長)

日本と国際社会の関係が複雑化する中で、非政府、非営利、非党派の立場から地球規模のテーマについて各国間の相互理解を図り、国の内外に提言していくという当フォーラムの活動は益々重要になると思います。



「日台対話」開催迫る

第3回「日台対話」の開催がよいよ10月23-24日に迫ってきた。共催相手の中華欧亜基金会の郭靖玫副理事主任が来日したのを迎えて、9月4日には当フォーラム事務局の渡辺蘭事務局長代理と山田美樹事務局主任が、最終打合わせを行った。

10月24日は午前「国際協力と安全保障」、午後「経済協力と貿易発展」を議論する予定。また、昼食講演会では黄介正行政院大陸委員会副主任委員が「グローバリゼーション時代の海峡横断関係」と題して講演する予定。

国際政経懇話会

グローバル・フォーラム等3団体共催の月例朝食会「国際政経懇話会」が6月19日都内のホテルで開催された。

安藤裕康外務省中東アフリカ局長を講師に迎え、イラク戦争後新たな局面を迎えている中東情勢について、米英によるイラク統治やパレスチナ・イスラエル間の和平ロードマップを中心に、日本の対応やイラン、シリア、サウジアラビアなどの周辺国の動向も含めた貴重なお話をいただいた。また、その後出席者21名との間でオフレコベースの突っ込んだ懇談が行われた。

「日本アセアン対話」

伊藤憲一当フォーラム世話人事務局長は、8月3-7日にクアラルンプールに飛び、マレーシアのノルディン・ソビー、シンガポールのハンク・リム、カンボジアのカオ・キム・ホーン、ラオスのセンチャン・ソウクハセウム等の、前回「日本アセアン対話」(2003年1月)の参加者たちと再会し、次回「日本アセアン対話」の開催につき、意見を聞いた。

いずれも前回「対話」を高く評価し、次回「対話」への期待や要望を述べた。



ノルディン・ソビー氏と歓談する伊藤事務局長

ホームページ大巾にリニューアル

グローバル・フォーラムのホームページ (<http://www.gfj.jp>) は、2000年1月の開設以来、それなりに皆様から親しまれてきたが、このたび10月1日付けでそのデザインを大幅に一新した(写真下)。

トップページには「国際ダイアログ」「トピックス」「事業プログラム」



「新着情報」「事業レポート」という5つの新しいコーナーを設け、グローバル・フォーラムの全体像が一目でわかるように、改良した。

目玉である「国際ダイアログ」のページは、これまでトップページから、アイコンを3回クリックしなければ各国・地域との対話の記録に辿りつけなかったが、今回から1回で開くことができるようになった。また、PDFファイルでの閲覧も可能になった。

謝辞

当フォーラムの諸活動の主要な財政的基盤は、その経済人世話人および経済人メンバーの所属する企業の納入する賛助会費にあります。

現時点における賛助会費納入企業は、下記の15社23口です。ここに特記して謝意を表します。

【経済人世話人所属企業】【5口】

トヨタ自動車 キッコーマン

【経済人メンバー所属企業】【1口】

住友電気工業 鹿島建設 新日本製鐵
東京電力 三井住友銀行 富士通
旭硝子 東京三菱銀行 日本電信電話
富士ゼロックス ビル代行
日本原子力発電 松下電器産業

(入会日付順)

事務局便り

会報本号へのメッセージ寄稿(1頁)のお願いや秋に迫った「日台対話」(2頁)へのパネリストとしてのご参加のお願いに、渡辺と山田が経済人メンバーの各社を歴訪させて頂きました。

長い間電話の声でしか存じ上げなかった方々と、初めてお目にかかり、改めて顔と顔のコミュニケーションの大切さを痛感しました。今後もこうした努力を続けていきますので、よろしく。

フォーラム活動日誌(6-8月)

6月19日第154回国際政経懇話会(安藤裕康外務省中東アフリカ局長他21名)

6月27日 Bernard de MONTFERRAND 在京仏大使来訪(伊藤世話人事務局長)

7月1-5日 神保謙有識者メンバー、韓国に出張し、「日韓対話」に関し専門家等と意見交換

7月11日 来日した NOORDIN Sopiee マレーシア戦略国際問題研究所会長と会食(伊藤世話人事務局長)

7月16日 第155回国際政経懇話会(佐野忠克経済産業省経済産業審議官他21名)

8月3-8日 マレーシア・クアラルンプールに出張し、次回「日本アセアン対話」に関し協議(伊藤世話人事務局長)

9月4日 来日した郭靖玫中華欧亜基金会副理事主任と協議(渡辺蘭事務局長代理他1名)